

—— さあ行こう! — 億年時間旅行へ ——
石炭が紡ぐ大地と人々の物語

三笠ジオパーク

MIKASA GEOPARK





化石

日本一のアンモナイト博物館



炭鉱

北海道近代炭鉱発祥の地



鉄道

全国初の産業鉄道

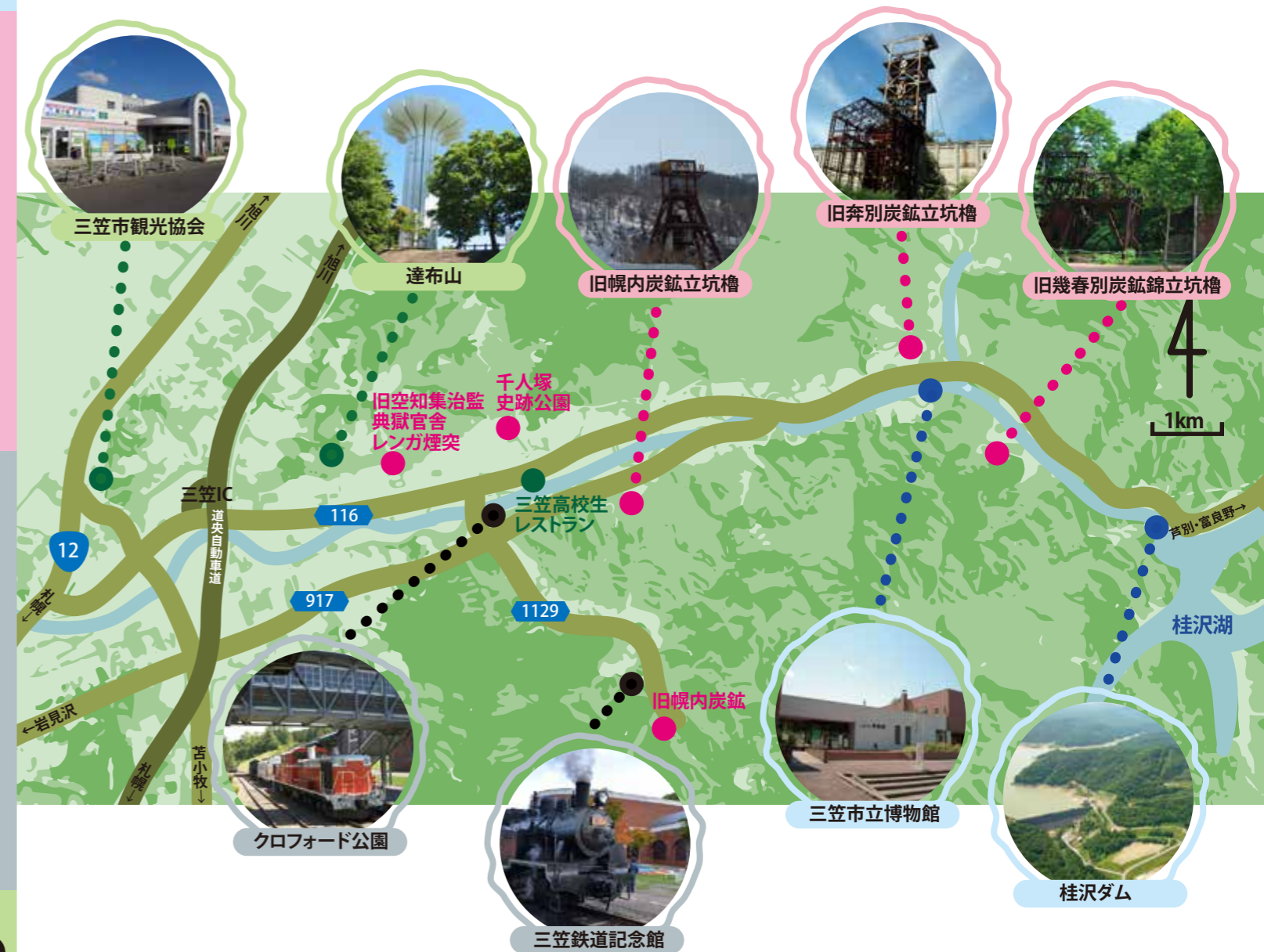


大地の恵み

「三笠の大地の恵みを
「飲んで」「食べる」

三笠ジオパークとは？

アンモナイトが海を泳いでいた一億年前から、炭鉱まちとして栄えた現代まで、一億年時間旅行を気軽に楽しむことができる場所、それが三笠ジオパークです。三笠ジオパークでは、世界的にも有名なアンモナイトをはじめとする一億年前の生命の痕跡、石炭という大地の遺産の恩恵を受けながら暮らしてきた、炭鉱まち特有の文化を感じることができます。



ジオツアーに参加しませんか？

三笠ジオパークでは5月から10月にかけて、ジオツアーを開催しています。ジオツアーは三笠の様々な「お宝」と見る・聞く・触る・食べる・動くなどの様々な楽しみ方を組み合わせたツアーです。詳しくはホームページをご覧ください。詳しくはホームページをご覧ください。

アンモナイトの化石と炭鉱、地層を探る ①一億年時間旅行体感コース



情報拠点施設

見学時間
30分



三笠市立博物館

三笠市幾春別錦町1丁目212-1
☎01267-6-7545

主に三笠を中心に、道内で産出したアンモナイト化石を約600点(191種)展示。アンモナイト展示数日本一の博物館。

【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)

※11月~3月は祝日も休館

【入館料】大人450円(360円)
小・中学生150円(120円)
※()は20名以上の団体

化石に
触って
みよう!!



徒歩5分

所要時間
徒歩
往復60分

野外博物館エリア 全長1.2km

1億年前と5000万年前の大地の記憶、そして人々の営みの記憶がひとまたぎで体感できる散策路で、地層、石炭、炭鉱など、三笠ジオパークにとって重要な要素を余すことなく楽しむことができます。情報拠点施設等に野外博物館チラシもありますので併せてご覧ください。



旧幾春別炭鉱錦立坑櫓 いくしゅんべつ

大正9年12月に完成したとされ、現存する立坑櫓では道内で最も古いものです。

石炭

露頭した石炭層を間近で見ることができます。石炭は近代日本の産業を支える重要なエネルギー源で、「黒いダイヤ」「黒の宝石」などと呼ばれていました。



ひとまたぎ5000万年

約5000万年前の地層と約1億年前の地層が隣り合っており、2つの地層の境界をまたぐと、一気に5000万年もの時間を飛び越えることができます。



5000万年を
ひとまたぎ
しよう!!

垂直な地層

三笠付近の地層はほぼ垂直になっています。これは約1300万年前から始まった日高山脈の上昇期に大きな力を受けてできたと考えられています。



桂沢神居古潭

約1億年前の硬い地層である三笠層を幾春別川が削ってできたダイナミックな地形です。この周辺の地層からはアンモナイトなどの化石が産出することでも知られています。



時間があったら…三大立坑櫓制覇!

石炭を地下から運び出すエレベーターの役割を果たしていた建物を立坑櫓といいます。地域を支えた炭鉱の立坑櫓が市内には3カ所残っています。



旧奔別炭鉱立坑櫓 ほんべつ

地域を支えた巨大な炭鉱で旧奔別炭鉱立坑櫓は当時、東洋一の立坑と呼ばれていました。
※私有地のため、敷地内立入り禁止



旧幌内炭鉱立坑櫓 ほろない

昭和41年に建設され、高さ約40m、地下約1077mの巨大エレベーターです。
※私有地のため、敷地内立入り禁止

時間があったら…



桂沢ダム

昭和32年に完成した北海道で初めての多目的ダムです。

令和2年までダムのかさ上げ工事を実施しています。完成後には総貯水容量が1.6倍に増大し、新桂沢ダムへと生まれ変わります。

グルメ



更科食堂

【住】三笠市幾春別町1丁目174

【Tel】01267-6-8323

【営】11:00~15:00

【休】火曜日

おすすめ ざるそば



三笠の大地の恵みを「見て」「買って」「飲んで」「食べる」

②大地の恵み満喫コース

①一億年時間旅行体感コース



三笠市立博物館



野外博物館エリア

車10分

見学時間
15分



三笠高校生レストラン MIKASA COOKING ESSOR

三笠市若草町396番地1
☎01267-3-7335
道内の公立高校では唯一の食物調理科がある三笠高校の学生が調理・接客を担当、和食やスイーツを提供し、腕を磨くレストランです。特産品やジェラートなどを販売する「ESSOR STORE」を併設しています。高校生開発商品もおすすめです。営業日・営業時間についてはホームページでご確認ください。

車20分



見学時間
10分

たっぶやま
達布山
達布山はアイヌ語の「タブ・コブ」（「頂上の丸い山」を指す）が語源です。展望台からは石狩平野を一望でき、晴れた日には札幌ドームも見えます。付近ではその斜面を利用してワイン用のぶどうが広く栽培されています。

車15分



見学時間
10分

情報拠点施設

三笠市観光協会（道の駅「三笠」内）

三笠市岡山1056
☎01267-3-2828
国道12号沿いの道の駅三笠にあり、多くの観光客が立ち寄る休憩スポット。観光情報を提供。三笠の特産品を販売。
【開館時間】9:00～18:00
※10月～3月は17:00まで
【休館日】月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

三笠ジオパーク認定商品

三笠ジオパークをイメージした土産品や食品を募集し、条件を満たす商品を認定しています。三笠市観光協会や三笠高校生レストラン ESSOR STORE等で販売していますので、ぜひお買い求めの上、味わってください。



田園風景や
ブドウ畑などの
見晴らしを楽しもう！



石炭を輸送した幌内鉄道とその歴史を感じよう

③日本初!!産業鉄道の歴史コース

情報拠点施設

見学時間
10分



クロフォード公園

今も残る旧三笠駅のホームを見ることができます。現在は線路を利用して、三笠トロッコ鉄道が運行されています。クロフォード公園（旧三笠駅）から三笠鉄道村（旧幌内駅）までの約2.5kmをトロッコに乗って楽しむことができます。

見学時間
50分



三笠鉄道記念館

三笠市幌内町2丁目287
☎01267-3-1123
北海道初の鉄道である幌内鉄道の偉業を伝え、北海道交通の歴史を幅広く紹介。蒸気機関車の乗車体験や運転体験も実施。
【開館時間】9:00～17:00（入館は16:30まで）
【休館日】月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）
※10月16日～4月15日は冬期休館

見学時間
60分



旧幌内炭鉱

三笠で最初の坑口である音羽坑など、北海道初の近代炭鉱であった旧幌内炭鉱の遺構を見ることができます。

入館料
大人530円(430円)
小・中学生210円(160円)
※()は20名以上の団体



探検しよう！

時間があったら 三笠エリア

三笠にあった集治監（現在の刑務所）の記憶をたどり、開拓にかけた先人たちの努力の跡を見ることができます。



旧空知集治監典獄官舎 レンガ煙突

空知集治監の典獄（刑務所長）官舎跡地です。現在はレンガ煙突のみが残っています。



千人塚史跡公園

空知集治監の囚人たちの墓がある史跡公園です。空知集治監では労役として道路の開拓や石炭の採掘などを行っていました。

グルメ



みつい食堂

【住】三笠市多賀町19-12
【Tel】01267-3-2151
【営】11:30～19:00
【休】月曜日

おすすめ あんかけ焼きそば



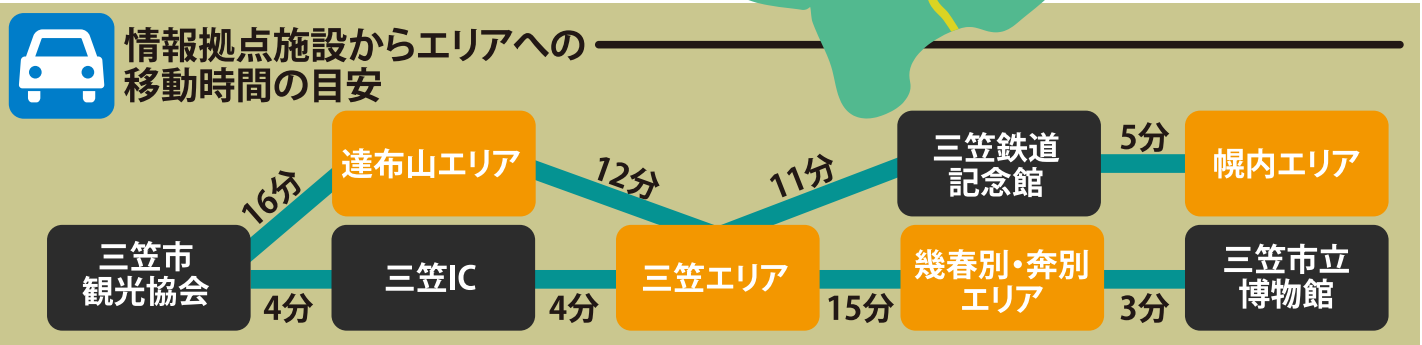
高島屋食堂

【住】三笠市本町226
【Tel】01267-2-2650
【営】11:00～19:00
（火曜日のみ15:00まで）
【休】水曜日

おすすめ ジャンボザンギ定食



三笠市への交通アクセス



さらに詳しく知りたい方はコチラ!



このマップで全て解決できます。



←左のQRコードを読み込み GoogleMapsアプリで開いてご利用ください。



お問合せ

お気軽にご連絡ください

三笠ジオパーク推進協議会事務局

〒068-2192 北海道三笠市幸町2番地 (三笠市役所商工観光課内)
Tel 01267-2-3997 (平日8:30~17:00)

公式HP



Facebook

